食文化共同研究会

１　概要

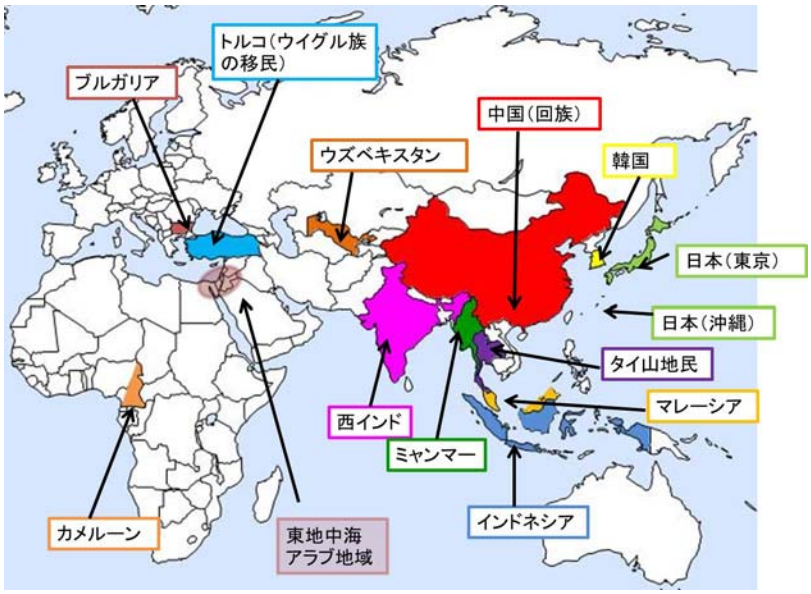
食に関する諸課題の解決に意欲的に取り組み、食の未来をリードする高度人材を育成するとともに、グローバル化時代における国内外の新たな食ビジネス創成に有用な食文化に関する基礎研究の充実を図るために、食文化共同研究会を組織した。

共同研究の手法としては、世界各地のフィールドで生活文化としての食文化を文化人類学的なアプローチから調査している研究者にそれぞれ現地調査を行うための渡航旅費を支給し、「食の選択に影響を与える文化的要因　―文化人類学的アプローチから」という共通テーマのもと、各自それぞれの調査地でふさわしい個別テーマを選定し、研究を行ってもらう。

共同研究の組織は、研究分担者として国内諸機関に所属する若手・中堅研究者 10 名、研究協力者として大学院生数名からなるものとし、これに、アドバイザーとして国立民族学博物館石毛直道名誉教授、同朝倉敏夫教授を迎え、年に二回程度共同研究会を開き、それぞれの研究成果をもちよって討論を行う。

研究成果の公開については、随時、公開講義で報告している。また、各自が学術論文や一般向けの著作物、ウェブサイト等で発表したりするほか、最終年度には、調査報告書をとりまとめ出版する、公開シンポジウムを開くなどの形で、東工大および一般社会に公開していく予定である。

共同研究会メンバー（研究分担者・研究協力者）の調査対象地域



２　公開講義の開催

第１回　２０１２年２月２０日

http://www.mot.titech.ac.jp/food/data/event_20120220.pdf

第２回　２０１２年９月２３日

http://www.mot.titech.ac.jp/food/data/event_20120923.pdf